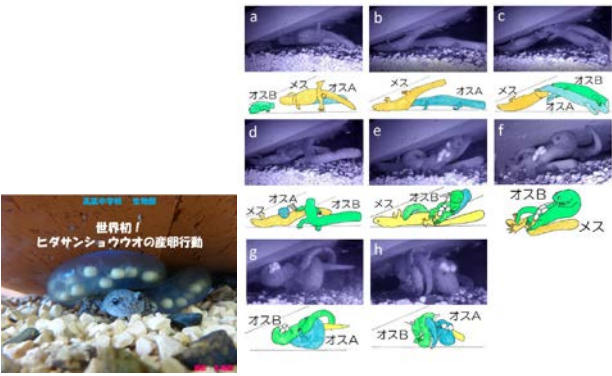
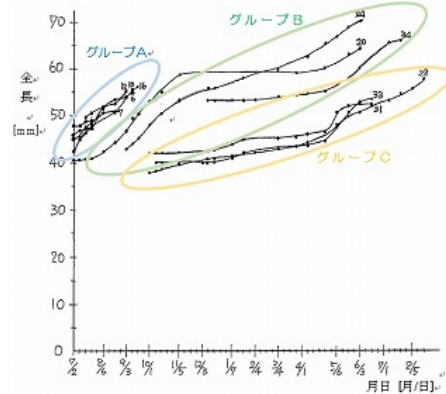


第3回日産財団リカジョ賞 -奨励賞-

テーマ	守れ！ ふるさとのヒダサンショウウオ		
所属機関	山県市立高富中・富岡小生物部	役職氏名	顧問 福田英治
活動紹介	<p>生物好きなリカジョが活躍できる場として、公立中学校では珍しい生物部を立ち上げた。全国の中学校に生物部ができて欲しいと願い、身近な川の調査を提案した。その後、ヒダサンショウウオと出会い、4人のリカジョと共に土日・休日は山に入り、研究を積み重ねた。4年間の生態調査を元に、越冬幼生の現れる原因を突き止め、全国野生生物保護実績発表会で文部科学大臣賞をいただいた。また翌年、世界で初めて産卵行動をビデオに収め、オスとメスが協力しながら産卵することを明らかにし、日本科学賞でも文部科学大臣賞をいただいた。さらに、幼生には3種類の成長パターンがあることを突き止め、日本生態学会高校ポスター発表で中学生初の最優秀賞をいただいた。その後、日本爬虫両棲類学会から論文を発表し、世界両生類学会でも英文で論文が紹介された。研究に関わったリカジョの一人は、現在岐阜高校生物部でヤマトサンショウウオの研究を行い、全国はもとより世界大会等でも発表をしている。</p> <p>小学校に異動し、児童から研究者を育てたいと生物部を立ち上げた。リカジョは、ヒダサンショウウオが産卵場所として湧水地を選ぶのは、水温の安定や雑菌の少なさからではないかと仮説を立て、研究を進めている。この様子は、地元の新聞やテレビでも取り上げられた。現在、日本爬虫両棲類学会や日本動物学会、日本生態学会等で発表する準備を進めている。リカジョは、今年度児童会執行委員長を務めるまで成長した。</p>		
PRメッセージ	<p>科学を志すリカジョはどの小中学校にも存在する。全国に科学部(生物部)を増やすためにも、リカジョと共に研究を重ね、その成果を発表する活動を続けていきたい。</p>		



世界初！ヒダサンショウウオの産卵行動



28 岐阜県立高富中 2019(1)

ヒダサンショウウオの産卵行動

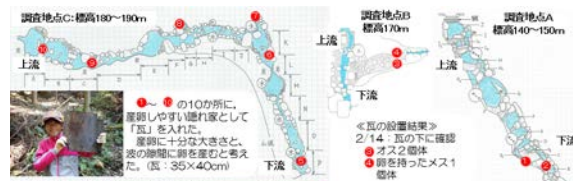
福田 英治・岩城 剛・村瀬すぐり・加藤なつき・三宅 遥香
501-2105 岐阜県山県市高富 2845 番地1 山県市立高富中学校生物部

Observation of spawning behavior in *Hynobius kimurae*

By Eiji Fukuta, Ryo Ikaki, Suguri Murase, Natsuki Katou, and Haruka Miyake
Takahashi Junior Secondary School, 2845-1 Takahashi, Yamagata, Gifu 501-2105, Japan

はじめに
ヒダサンショウウオ *Hynobius kimurae* は中部地方以西の本州に分布する日本固有種で、サンショウウオ科サンショウウオ属に分類される。環境省ならびに岐阜県のレッドリストで準絶滅危惧に指定されている(環境省レッドリスト 2018: <https://www.env.go.jp/>)

点に留意した(表1)。
①本観について: 2015年は小型の流木ポンプ(カニハタ Rio+50)を使用した。調査が後者から後者へ変更された事例があったことから、後者が通ずる可能性を考えた。そこで2018年にはポンプを使用せず、エアーストンを付いた気泡放出のみ



(2) 水温測定結果 (11~2月)

- 湧水の確認 (調査より水温が高い)
- は、約1℃高い
- は、約2℃高い
- 湧水の確認はできなかった
- (深流の水温と同じ)

調査地点6
調査地点7

グラフ: 深流と調査地点6・7の水温の変化